

岩手県感染症週報

平成17年第22週（5月30日～6月5日）

岩手県結核 感染症情報センター

第22週の概要

- 1 類感染症
- 2 類感染症
- 3 類感染症

患者発生の報告はありませんでした。

4 類感染症

- ・つつが虫病の報告が1例ありました。患者は50歳代の女性です。

5 類感染症（全数把握対象疾患）

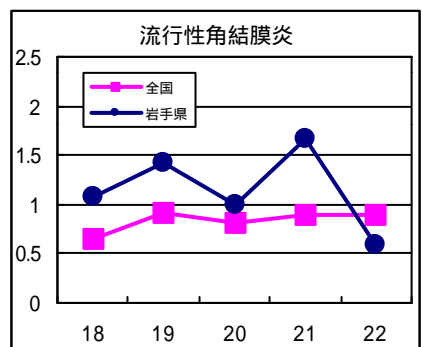
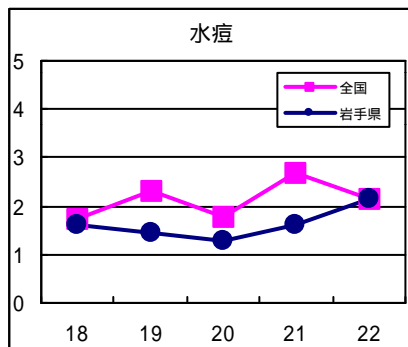
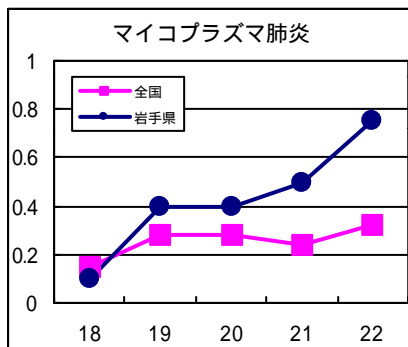
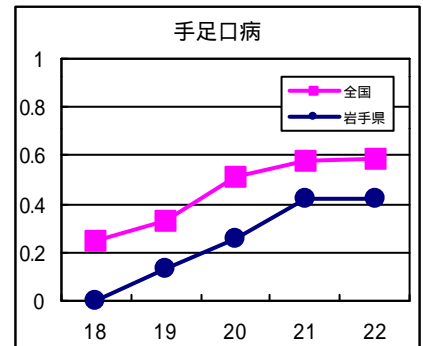
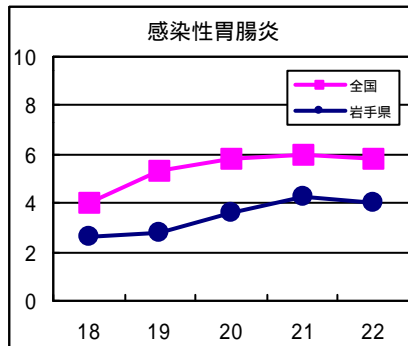
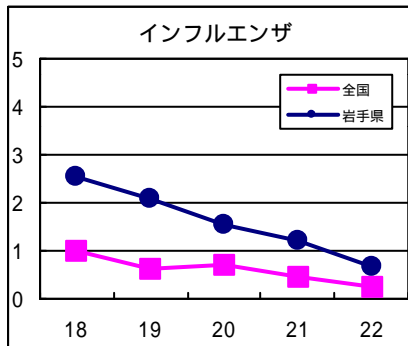
- ・患者発生の報告はありませんでした。

5 類感染症（定点把握対象疾患）

- ・感染性胃腸炎は花巻、北上、水沢地区で流行が続いています。同地区の定点あたり患者数は9.1人で、例年の約2倍の患者が発生しています。集団感染事例の報告も相次いでおり、前週の一関地区の小学校に引き続き、この週には北上地区の高齢者施設と花巻地区の高等学校でノロウイルスによる集団感染事例がありました。ノロウイルスによる胃腸炎は、1～2日の潜伏期の後、嘔気、嘔吐、下痢が主症状ですが、腹痛、頭痛、発熱、筋肉痛を伴うこともあります。症状が消失しても1～2週間は便とともにウイルスが排出されるので、特に二次感染の予防に注意が必要です。
- ・水痘は、久慈地区で前週に引き続き患者数が多い状態が続いており、この週には花巻地区でも患者が増加しました。
- ・前週に患者数が多かった流行性角結膜炎は、この週には減少しました。
- ・マイコプラズマ肺炎が増加しています。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		18	19	20	21	22		
インフルエンザ	岩手県	2.53	2.1	1.53	1.19	0.66	↘	
	全国	1.02	0.64	0.69	0.46	0.25		
咽頭結膜熱	岩手県	0.08	0.13	0.08	0.05	0.16	→	
	全国	0.22	0.27	0.31	0.42	0.46		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.21	0.55	0.74	0.71	0.76	→	
	全国	0.96	1.5	1.91	1.85	1.94		
感染性胃腸炎	岩手県	2.61	2.76	3.63	4.26	4.03	→	
	全国	4.05	5.32	5.81	6.02	5.85		
水痘	岩手県	1.63	1.45	1.29	1.61	2.16	↗	
	全国	1.74	2.32	1.76	2.68	2.15		
手足口病	岩手県	0	0.13	0.26	0.42	0.42	→	
	全国	0.25	0.33	0.51	0.58	0.59		
伝染性紅斑	岩手県	0.34	0.05	0.13	0.13	0.21	→	
	全国	0.19	0.26	0.42	0.4	0.45		
突発性発疹	岩手県	0.5	0.37	0.34	0.55	0.21	→	
	全国	0.52	0.67	0.73	0.76	0.74		
百日咳	岩手県	0.03	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
風疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0	0.01	0.01		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.08	0.08	0.5	0.37	0.29	→	
	全国	0.23	0.34	0.5	0.71	0.85		
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0.01	0.01		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.39	0.39	0.47	0.24	0.66	→	
	全国	0.98	1.19	1.1	1.09	1.35		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0.08	0	0.08	→	
	全国	0.01	0.03	0.03	0.03	0.03		
流行性角結膜炎	岩手県	1.08	1.42	1	1.67	0.58	↘	
	全国	0.66	0.92	0.82	0.9	0.9		
RSウイルス感染症（患者報告数）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	29	33	25				
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.02	0.01	0.01	0		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0.05	→	
	全国	0.01	0.03	0.01	0.02	0.02		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.1	0.4	0.4	0.5	0.75	↗	
	全国	0.15	0.28	0.28	0.24	0.32		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.03	0.01	0.01	0.03		
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		

【流行傾向の見方】

- 無印：ほとんど患者が発生していません
- ：患者が発生しています
- ↗：警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ↘：多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）									(患者発生数)	
分類	疾病名	岩手県					全国			
		(週) 18	19	20	21	22	累計	22	累計	
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0	
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
二類 感染症	コレラ	0	0	0	0	0	0	1	23	
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	5	234	
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	1	23	
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	1	6	
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0	
三類	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0	0	1	62	460	
四、 五類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	1	7	280	
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	9	
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	24	
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	急性ウイルス性肝炎	0	0	0	0	0	2	1	122	
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	3	
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	5	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	1	0	2	2	54	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	1	0	28	
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	0	14	426	
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	1	23	
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	4	
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ツツガムシ病	0	0	1	0	1	2	8	69	
	デング熱	0	0	0	0	0	0	1	13	
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	1	5	
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
	乳児ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0	
	梅毒	0	0	0	0	0	1	5	209	
	破傷風	0	0	0	0	0	0	1	32	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	31	
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0	
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0	
	マラリア	0	0	0	0	0	0	2	27	
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	3	58	
ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0		

昨年11月5日に感染症法が改正されたことに伴い、調査対象疾患が一部改正されましたが、本週報では当面の間、改正前の分類による情報をお届けしております。
できるだけ早い時期に、新しい分類による情報をお届けするよう準備していますので、ご了承ください。

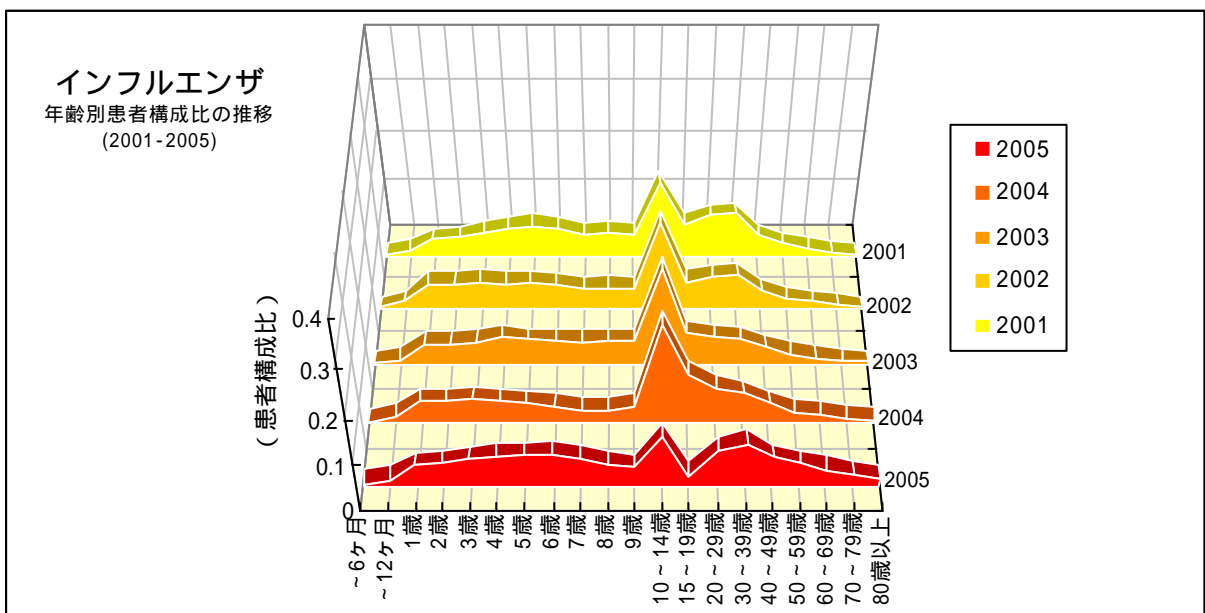
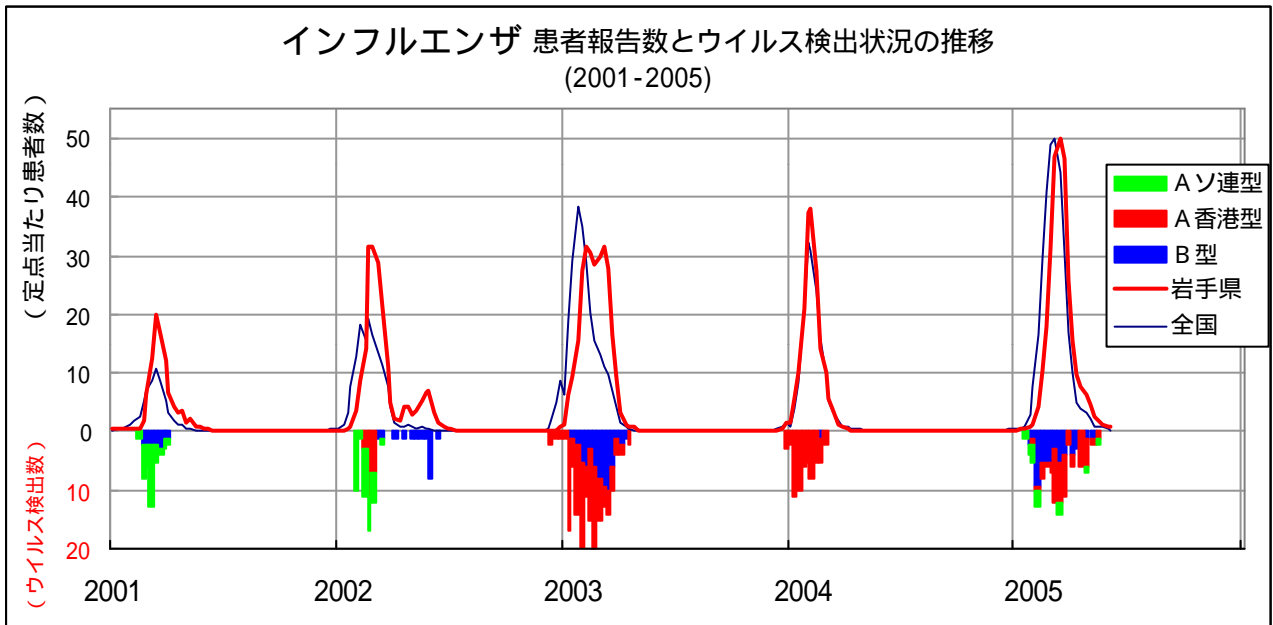
今注目の感染症

インフルエンザ（2004 - 2005シーズン）の概要

- ・ 第5週（1/31-2/6）から患者数が増え始め、第10週（3/7-3/13）が流行のピークでした。例年より約2週ほど遅れて流行が始まり、5月にはいっても一部地域では患者発生が続きました。患者報告数は過去5年間で最も多くなっています。
- ・ 例年とは患者の年齢層パターンが異なっています。
 - 例年と比べて3～7歳及び30歳代の患者が多い
 - 50歳代以上の患者は例年の2倍以上
 - 10～14歳の患者は例年の約半数程度
- ・ AH1, AH3, Bの3タイプのウイルスが同時に流行しました。流行株のHA抗原は今シーズンのワクチン株に類似しています。

環境保健研究センターが分離したウイルス株（5/20まで）

Aソ連型：11株 A香港型：52株 B型：40株



病原体検出情報

- ・流行性角結膜炎の結膜拭い液から、アデノウイルス3型を1例検出しました。

医療機関からの情報

盛岡地区の医療機関から

- ・インフルエンザA型を母子から検出した。

集団感染情報

ノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生

1 北上保健所管内の高齢者施設（入所者103名、職員77名）

上記施設から感染性胃腸炎の疑いのある症状を訴える者の集団発生について通報があり、北上保健所が調査を実施したところ、5月中旬頃から嘔吐、下痢を主症状とする患者が発生していたことがわかった。環境保健研究センターで行った患者便の病原体検査でノロウイルスが検出された。

発症者数33名（6月3日現在）

入所者21名（70～90歳代）

職員12名（20～30歳代）

6月6日現在、患者は全員回復している。

2 花巻保健所管内の高等学校（生徒数665名）

医療機関から感染性胃腸炎の疑いのある症状を訴える者の集団発生について通報があり、花巻保健所が調査を実施したところ、6月4日から嘔吐、下痢、発熱を主症状とする患者が発生していたことがわかった。環境保健研究センターで行った患者便の病原体検査でノロウイルスが検出された。

発症者数 特定の運動部の生徒20名（6月8日現在）

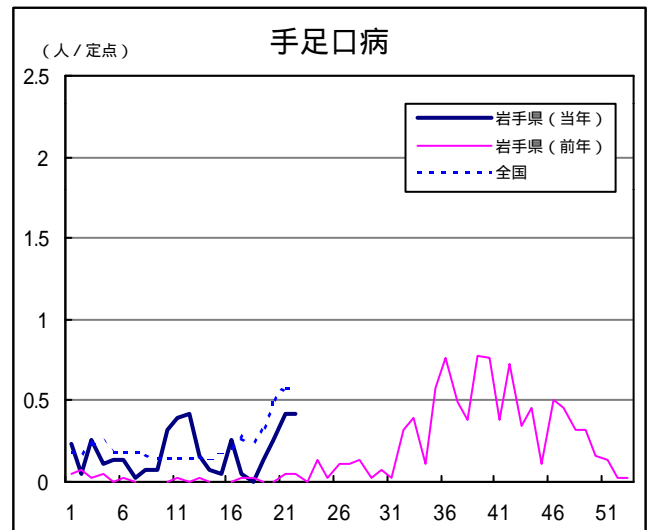
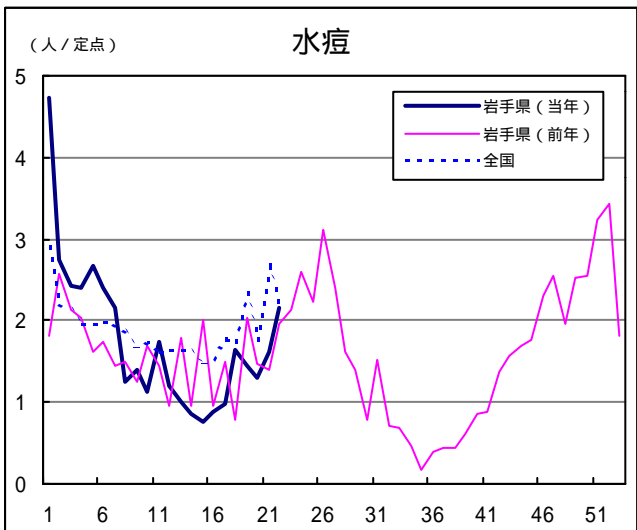
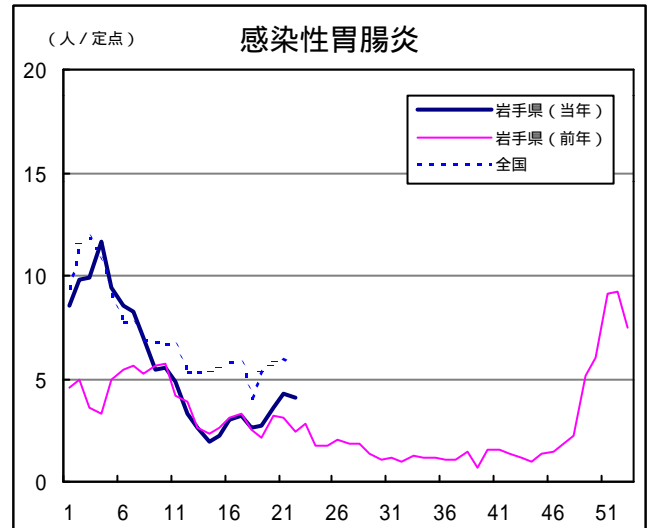
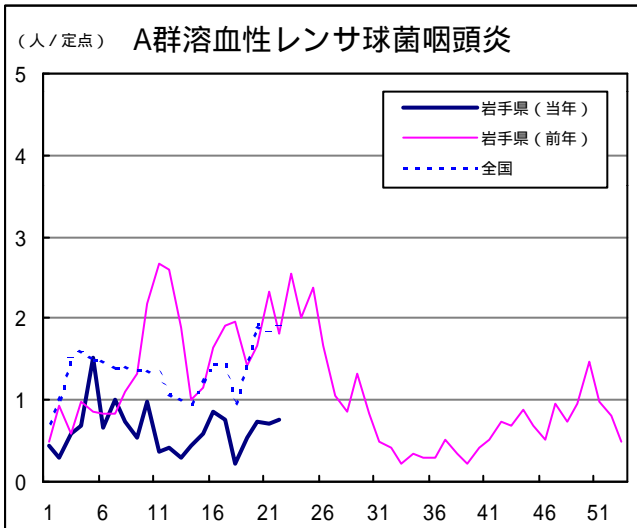
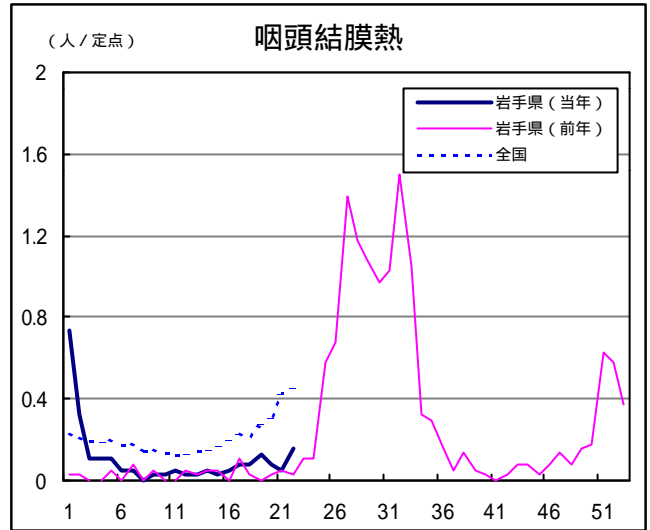
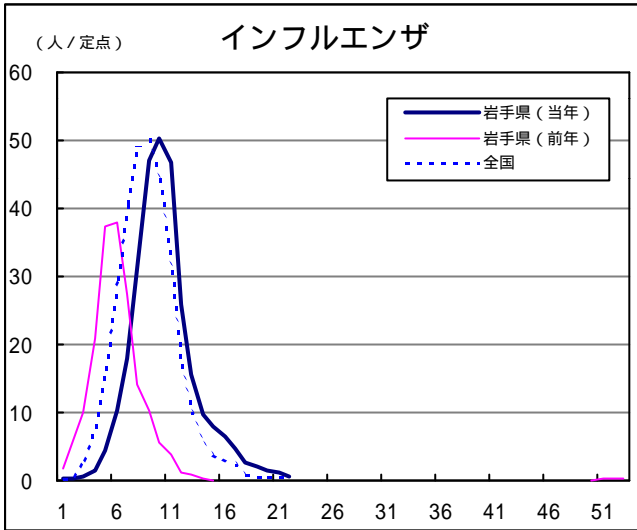
花巻保健所では、同高に対し、消毒、手洗いの徹底等の二次感染予防対策について指導している。

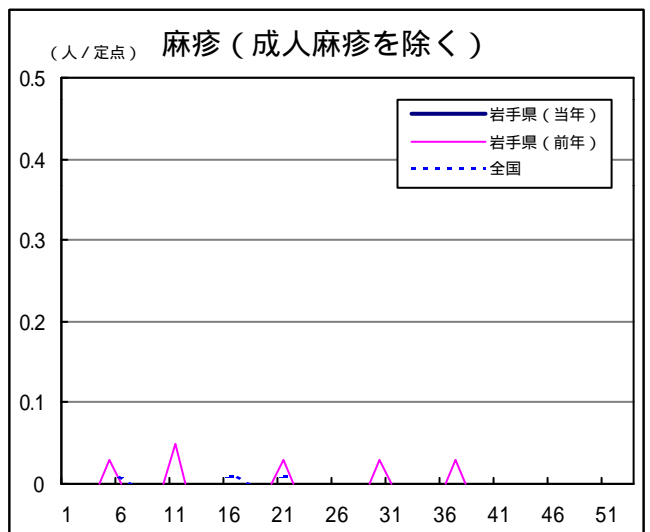
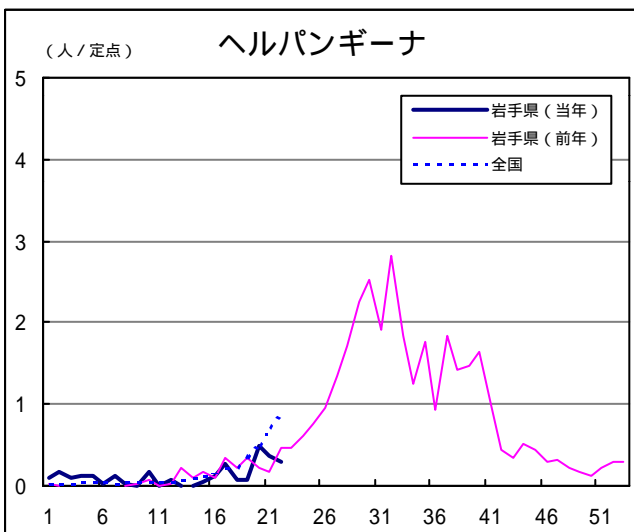
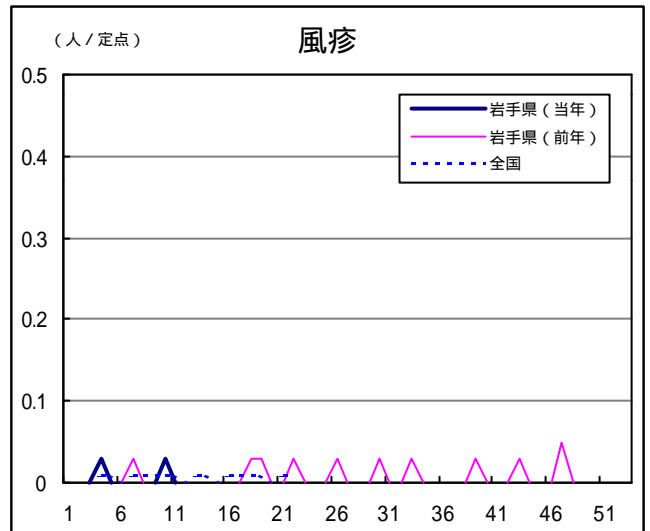
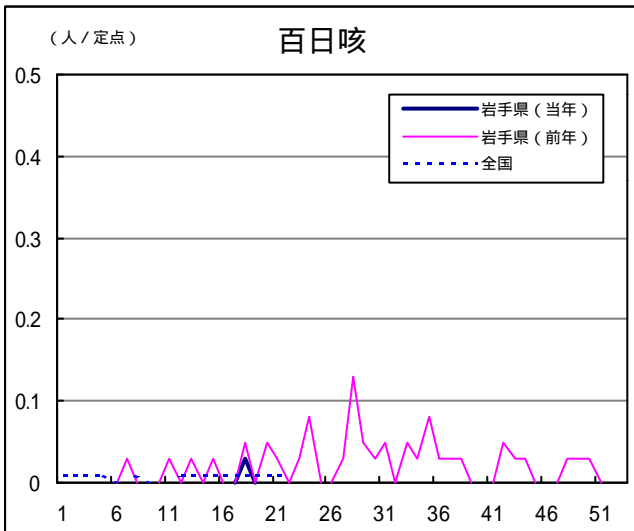
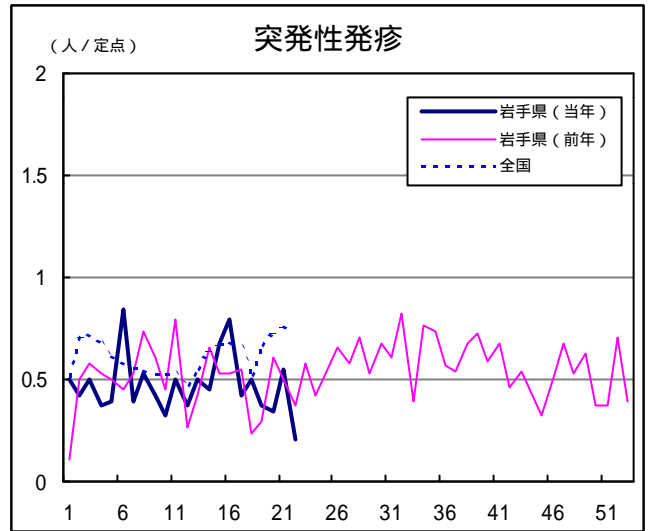
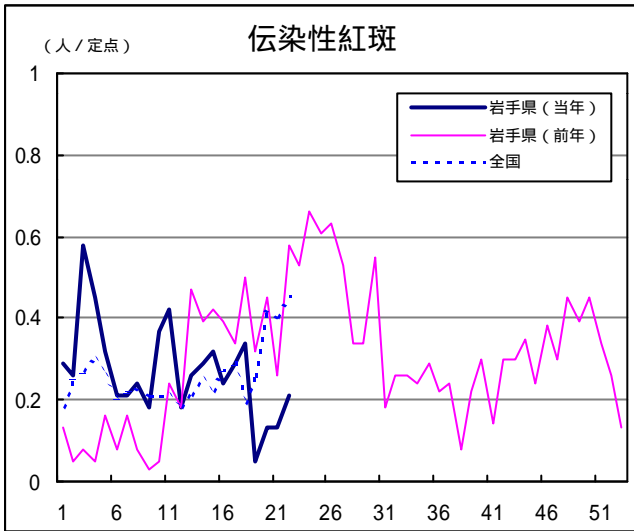
Q & A

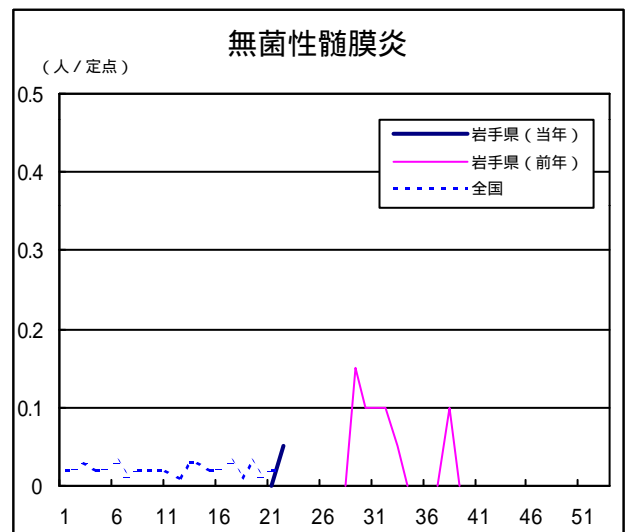
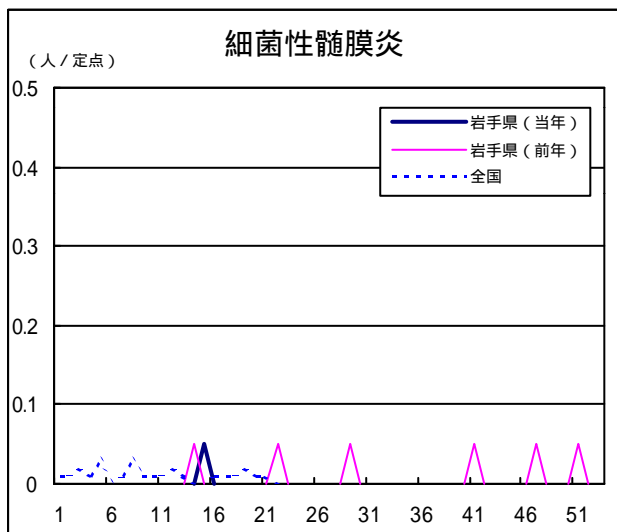
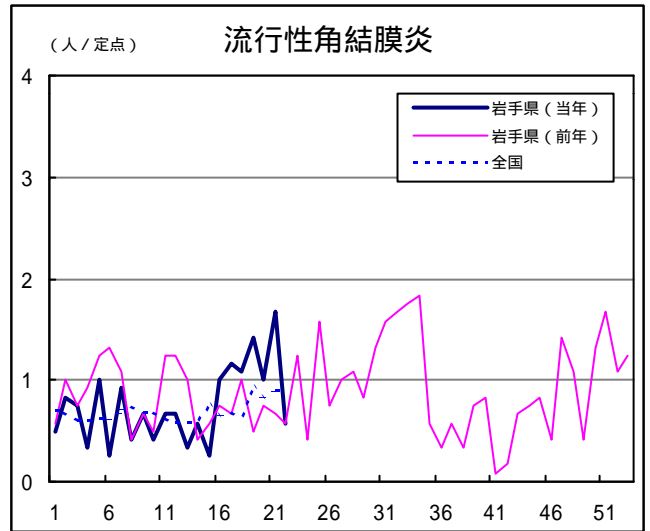
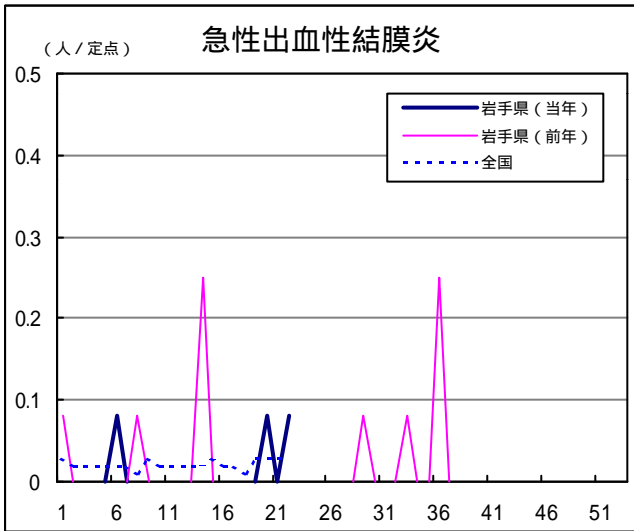
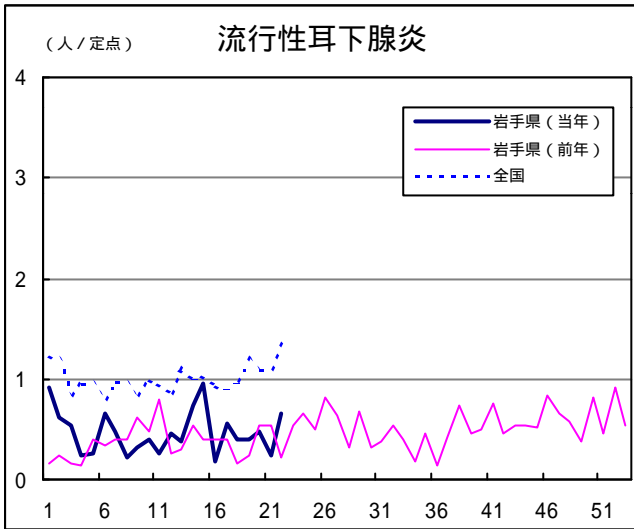
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

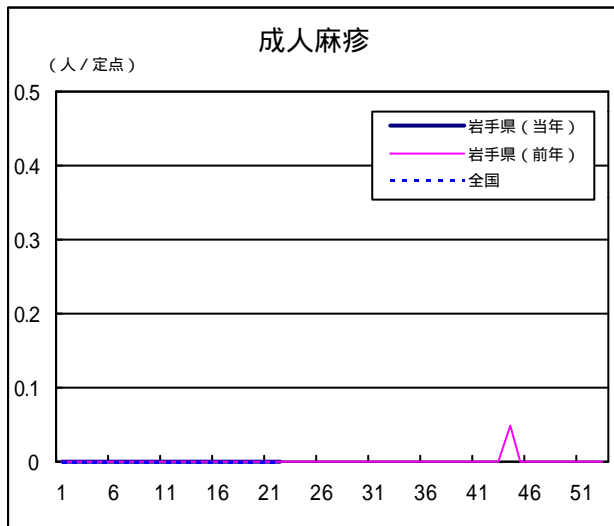
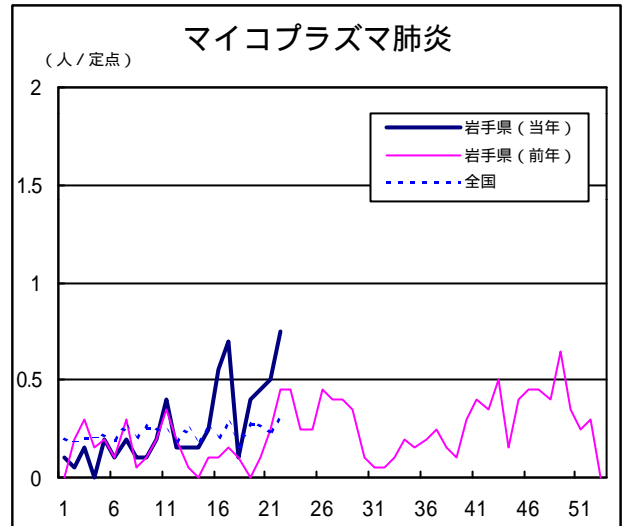
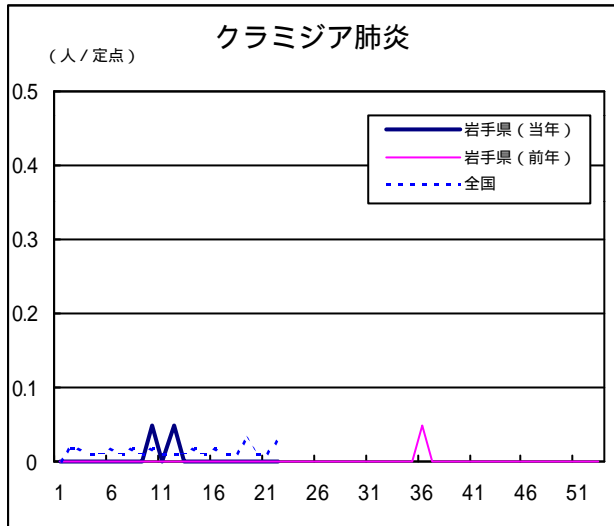
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail:CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県	62	38	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	5	3	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成17年第22週 平成17年6月10日発行
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会
 発行：岩手県環境保健研究センター
 岩手県保健福祉部保健衛生課
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター
 (岩手県環境保健研究センター保健科学部内)
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669(直通) FAX:019-656-5667
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>
 <岩手県結核・感染症情報センター>
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>